2023 年度大東文化大学大学院【秋季】入学試験

経営学研究科　経営学専攻（博士課程前期課程）

問題・解答

2022 年 10 月 1 日

科　　目　　名	受験番号：	採　点　欄
英語	氏　　名：	

問　次の 2 つの英文を和訳しなさい。

[1]

The US trade relationship with Japan was characterized by periods of intense conflict over 1969-95. The paper identifies five such periods, beginning with two bitter conflicts in 1971 and ending with an equally difficult conflict over autos in 1994-95. It presents econometric evidence suggesting rising Japanese penetration of the American market and growth in the bilateral merchandise trade deficit with Japan were important causes of these crises. Over 1996-2016, US-Japan relations were handled in a much less confrontational manner, as import penetration declined. The difficulties Japan's economy faced; heightened security concerns in Northeast Asia; a broader US shift away from unilateral measures; greater acceptance of the trade deficit; and perceptions that Japan was moving to open its economy were also important in lessening tensions in the bilateral relationship. Strong concerns with the US trade deficit re-emerged under the Trump Administration, but the two economics were, during this period, able to address trade differences without a major confrontation.

[2]

Initially, competition focused on a narrow range of manufactures that Japan produced in the early stages of its industrialization – the conflict in 1971 over textiles is one example. But Japan rapidly began to develop strengths in other industries. By the second half of the 1980s, it had become a strong competitor to the United States in a wide range of manufacturing industries where the United States had previously been dominant – ranging from steel and automobiles to semiconductors and consumer electronics.

The detailed case studies undertaken by Ka Zeng show the importance of this factor in adding fuel to conflict. In the case of the 1986-87 crisis, for example, it is likely that American trade policy towards Japan would have taken quite a different course had it not been for the lobbying efforts of industry. Zeng notes that it was 'at the urging of American chip producers that Washington initiated market access negotiations with the Japanese government' in 1982, and that 'Through extensive and continuous lobbing activities, the semiconductor manufactures … successfully brought to the attention of the government and the public the connection between the industry's troubles and unfair Japanese competitive tactics'.

2023 年度大東文化大学大学院【秋季】入学試験

問題・解答

経営学研究科　経営学専攻（博士課程前期課程）

2022 年 10 月 1 日

科　　目　　名	受験番号：	採　点　欄
経営学の基礎	氏　　名：	

次の語群の中から 5 つ選んで解答欄にその語句を示し、1 語につき 7 行以内で説明しなさい。

・ブルー・オーシャン戦略	・コア・コンピタンス	・従業員エンゲージメント
・マーケット・チャレンジャーの戦略	・サンプリング誤差	・プッシュ戦略とプル戦略
・発生主義	・時価会計	・予算管理
・データ駆動型社会	・オブジェクト指向	・データサイエンス

1 _____

2 _____

3 _____

裏面に続く

・ブルー・オーシャン戦略	・コア・コンピタンス	・従業員エンゲージメント
・マーケット・チャレンジャーの戦略	・サンプリング誤差	・プッシュ戦略とプル戦略
・発生主義	・時価会計	・予算管理
・データ駆動型社会	・オブジェクト指向	・データサイエンス

4 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

5 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

2023 年度大東文化大学大学院【秋季】入学試験

問題・解答

経営学研究科　経営学専攻（博士課程前期課程）

2022 年 10 月 1 日

科　　目　　名	受験番号：	採　点　欄
マーケティング研究指導 （五十嵐　正毅）	氏　　名：	

問１、 問２の両方とも解答してください。

問１．消費者に対する「広告効果」を測定しようとする際には、どのようなことに注意をする必要があるか。①「広告効果」のとらえかた、②効果の有無を判断する基準の設定、③広告効果測定の実務上の注意点、のそれぞれについて説明してください。

（問題は裏面にもあります）

問２．　消費者行動研究に関わる以下の３点について、 それぞれ説明してください。

2-1. 質問紙調査で消費者の心理状態を把握しようとする際の注意点

2-2. 定量調査と定性調査のそれぞれの長所と短所

2-3. 「巨人の肩の上に立つ」という言葉が示唆する事柄

（問題は以上です）

2023 年度大東文化大学大学院【秋季】入学試験

問題・解答

経営学研究科　経営学専攻（博士課程前期課程）

2022 年 10 月 1 日

科　　目　　名	受験番号：	採　点　欄
経営学研究指導（国府俊一郎）	氏　　名：	

１、以下の用語の中から３つを選択し、その意味と意義について 100 字以上 200 字以内で説明しなさい。
【科学的管理法】、【ワーク・エンゲージメント(Work Engagement)】、【均衡待遇】、【OJT (On-the-Job Training)】、
【終身雇用】、【ジョブ型雇用】、【ストック・オプション(Stock Option)】、【アファーマティブ・アクション（Affirmative action）】

① 選択した用語【　　】

②選択した用語【　　】

③ 選択した用語【　　】

２、論述問題
①近年、ESG（Environment, Social, Governance）経営戦略の重要性が説かれている。そこで、これからの企業に求められる、ESG 経営戦略に対応する積極的な人的資源管理施策について、300 字程度で論じなさい。

②コロナ禍中において、「テレワーク」や「在宅勤務」を許可する企業が増加したが、生産性の低下が課題になっている。そこで、「テレワーク」や「在宅勤務」で生産性が低下する原因とそれを克服するための施策について、300 字程度で論じなさい。

2023 年度大東文化大学大学院【秋季】入学試験

問題・解答

経営学研究科　経営学専攻（博士課程前期課程）

2022 年 10 月 1 日

科　　目　　名	受験番号：	採　点　欄
マーケティング研究指導 （首藤 禎史）	氏　　名：	

以下の設問から2問選択して解答せよ.

1. マーケティング・ミックスとマーケティング戦略との関係を戦略的マーケティングの視座から論述せよ.
2. 製品開発におけるアイデアの創出方法を 3 つ以上挙げ、それぞれについて解説せよ.
3. 新製品の価格設定方法について説明せよ.
4. マーケティング環境の捉え方と企業におけるマーケティングの役割ついて説明せよ.
5. 21 世紀に入ってからのマーケティングの定義（マーケティング・コンセプト）の変化と問題点について論ぜよ.

2023 年度大東文化大学大学院【秋季】入学試験

問題・解答

経営学研究科　経営学専攻（博士課程前期課程）

2022 年 10 月 1 日

科　　目　　名	受験番号：	採　点　欄
経営学研究指導 （山田 敏之）	氏　　名：	

○次の設問の中から２問を選択し、それぞれ 600 字から 800 字程度で解答しなさい。

１．DX(デジタル・トランスフォーメーション)の概念および DX を成功に導くマネジメントのあり方について、説明しなさい。

２．「両利きの経営」とはどのような概念か、実現するためのマネジメントのあり方にも言及しながら、説明しなさい。

３．事業部制組織の問題点とその解決のためのマネジメントのあり方について、説明しなさい。

４．イノベーション創造のために、なぜダイバーシティ(多様性)が必要になるのか、説明しなさい。

５．「ダイナミック・ケイパビリティ」とはどのような概念か、構成要素にも言及しながら、説明しなさい。

100 字

200 字

300 字

400 字

500 字

600 字

700 字

800 字

100 字

200 字

300 字

400 字

500 字

600 字

700 字

800 字

■2023 経営学の基礎（経営）

①集団浅慮

②管理限界

③イノベーターのジレンマ

④範囲の経済性

⑤科学的管理法

■2023 経営学の基礎（マーケティング）

PEST 分析

コモディティ化

ブルー・オーシャン戦略

上澄み吸収価格設定

GRP とリーチ、フリークエンシー

■2023 経営学の基礎（会計）

- 実現主義
- 減価償却
- 資金管理
- インボイス制度
- IFRS（国際財務報告基準）

■2023 経営学の基礎（情報）

ライフログ

チャットボット

フィンテック

ニューラルネットワーク

テキストマイニング

2023 年度大東文化大学大学院【春季】入学試験

問題・解答

経営学研究科　経営学専攻（博士課程前期課程）

2023 年 2 月 17 日

科　　目　　名	受験番号：	採　点　欄
経営学研究指導 （青木 幹喜）	氏　　名：	

次の 3 つの用語を、各々200～400 字で説明しなさい。

① ポジティブ心理学

② ワーク・エンゲイジメント

③ 有意味感

① ポジティブ心理学

100 字

200 字

300 字

400 字

② ワーク・エンゲイジメント

100 字

200 字

300 字

400 字

③　有意味感

100 字

200 字

300 字

400 字

2023 年度大東文化大学大学院【春季】入学試験

問題・解答

経営学研究科　経営学専攻（博士課程前期課程）

2023 年 2 月 17 日

科　　目　　名	受験番号：	採　点　欄
マーケティング研究指導 （五十嵐　正毅）	氏　　名：	

問１、 問２の両方とも解答してください。

問１. あるブランドに対する顧客ロイヤルティの実態を理解しようとする際に議論される、①潜在的ロイヤルティ、②見せかけのロイヤルティ、③真のロイヤルティ、についてそれぞれ説明してください。

（問題は裏面にもあります）

問２．　消費者行動研究に関わる以下の３点について、 それぞれ説明してください。

2-1. 調査協力者にスマートフォンを通じての回答を求めるオンライン調査 を企画実施する際の注意点

2-2. 量的調査において、非確率サンプリングでのデータ収集 を企画実施する際の注意点

2-3. 二群のデータを比較分析する t 検定を実施する際の、「対応のある t 検定」と「対応のない t 検定」の使い分け

（問題は以上です）

2023 年度大東文化大学大学院【春季】入学試験

問題・解答

経営学研究科　経営学専攻（博士課程前期課程）

2023 年 2 月 17 日

科　　目　　名	受験番号：	採　点　欄
経営学研究指導（國府 俊一郎）	氏　　名：	

基本問題：以下の 4 つの問題から<u>３つを選択して回答しなさい。</u>（合計 60 点）

①フレデリック・W・テイラー（Frederick Winslow Taylor）の提唱した「科学的管理法」について説明し、その良い点と問題点をそれぞれ述べなさい。（150 字程度）

②日本企業における「定年制度」について説明しなさい。また、なぜ日本企業の多くが「定年制度」を設けるのか、いくつか理由を述べなさい。（150 字程度）

③日本企業における「新卒一括採用」の文化について説明し、その良い点と問題点をそれぞれ述べなさい。（150 字程度）

④昭和 51 年東京高等裁判所における裁判例（東洋酸素事件）で確立したと言える「整理解雇の 4 要件」を踏まえ、業務不振時に日本企業が正社員を解雇せざるを得ない際に考慮すべき要件を 4 つ挙げ、簡潔に説明しなさい。（150 字程度）

選択した問題の番号（　　）

選択した問題の番号（　　）

選択した問題の番号（　　）

応用問題（2 題）それぞれの問題に回答しなさい。（合計 40 点）

近年、日本では週に数回「テレワーク」で働くことができる日を設ける人事施策が人気となっている。

①「テレワーク」が可能になることで、解決につながる「日本の社会課題」をいくつか挙げ、さらに「テレワーク」がそれらの課題を具体的にどのように解決するのか説明しなさい。（150 字程度）

②日本企業が「テレワーク」を導入・実施するにあたっての「人事制度」の面での課題について説明し、その解決方法について述べなさい。（150 字程度）

2023 年度大東文化大学大学院【春季】入学試験

問題・解答

経営学研究科　経営学専攻（博士課程前期課程）

2023 年 2 月 17 日

科　　目　　名	受験番号：	採　点　欄
マーケティング研究指導 （首藤　禎史）	氏　　名：	

以下の設問から2題選択して解答せよ

1. 市場細分化から標的市場の選定までの一連のプロセスを説明せよ（市場細分化、標的市場の選定の説明には少なくとも 2 つ以上の手法を用いて説明すること）.
2. マーケティング・ミックスとはどのようなものであり、その内容、今日的な意義および問題点にはどのようなことがあるが述べよ.
3. 製品ライフサイクル理論の有効性と問題点および製品ライフサイクルの延命策を挙げ，それぞれを説明せよ.
4. 典型的な新製品の価格設定方法について説明せよ.
5. 垂直的マーケティング･システムの諸形態について説明せよ.

2023 年度大東文化大学大学院【春季】入学試験

問題・解答

経営学研究科　経営学専攻（博士課程前期課程）

2023 年 2 月 17 日

科　　目　　名	受験番号：	採　点　欄
経営学研究指導 （長谷川 礼）	氏　　名：	

問　「プロダクト・ライフサイクルモデル」、「多国籍企業の内部化モデル」、「トランスナショナルモデル」は、いずれも国際ビジネスの代表的な理論モデルである。いずれか一つを選び、提唱された当時のビジネス環境にも言及しながら、その内容を説明しなさい。

2023年度大東文化大学大学院【春季】入学試験

問題・解答

経営学研究科　経営学専攻（博士課程前期課程）

2023年2月17日

科　目　名	受験番号：	採　点　欄
経営学研究指導 （山田 敏之）	氏　　名：	

〇次の設問の中から２問を選択し、それぞれ600字から800字程度で解答しなさい。

１．ポーターの競争戦略論の概要、特徴、問題点について、説明しなさい。

２．コア・コンピタンス論とはどのような概念か、提唱者たちが主張したかったことは何かという点も含め、説明しなさい。

３．組織的にイノベーションを生み出すためのミドル・マネジメントの役割について、説明しなさい。

４．企業の社会性(法令遵守、社会的責任、企業倫理)とイノベーション創造との関係について、説明しなさい。

５．組織の規模が拡大した際に直面する課題とはどのようなものか、またその課題を解決するためにはどのようなことが必要になるか、説明しなさい。

100字

200字

300字

400字

500 字

600 字

700 字

800 字

100 字

200 字

300 字

400 字

500 字

600 字

700 字

800 字